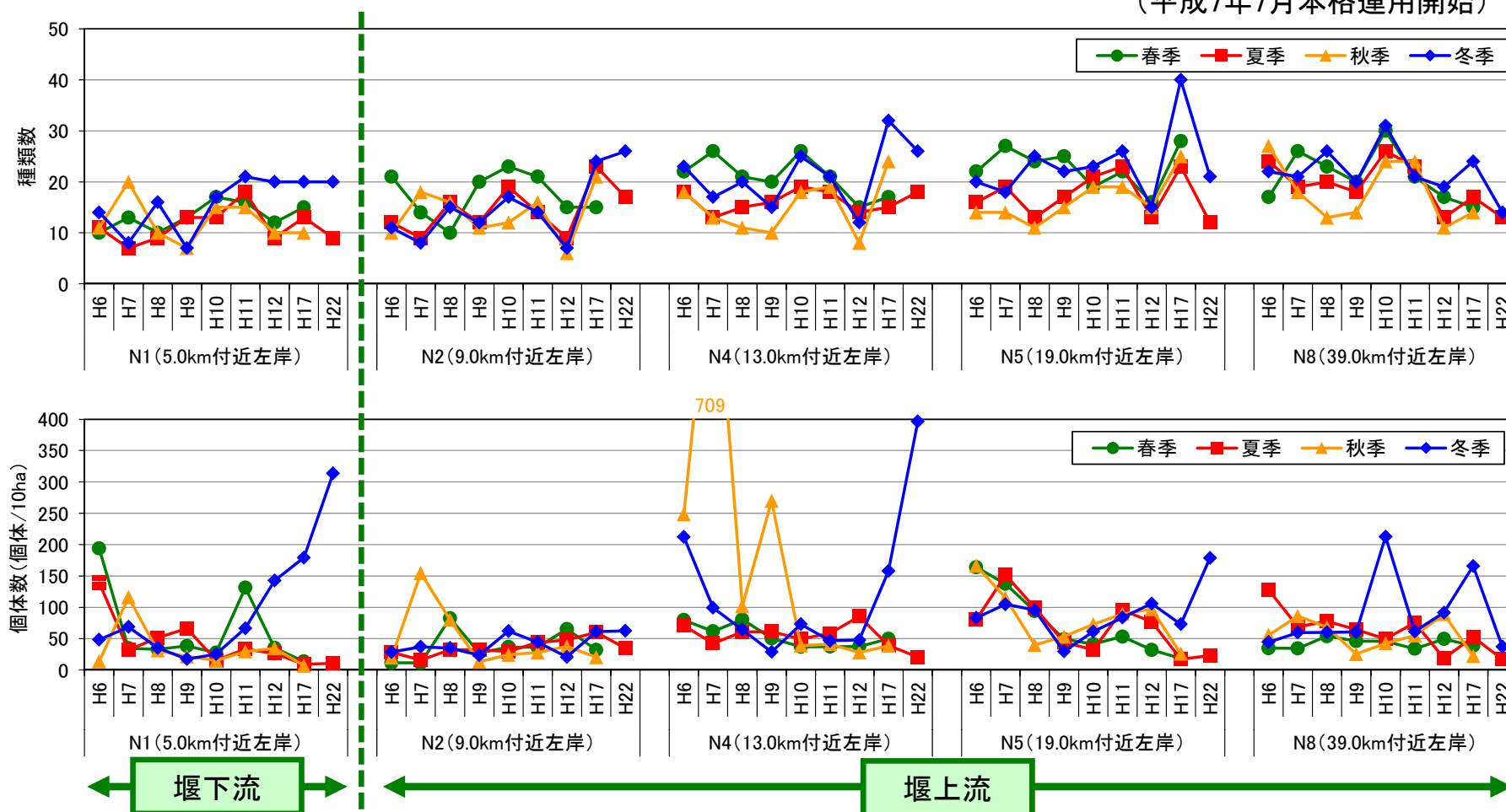


生物の生息・生育状況の変化の評価【鳥類】

■ 河川敷鳥類の種類数・個体数の経年変化

- 各地点とも、特定の種が多数出現する場合がありますが確認状況に年変動はあるが、一定の変化傾向は見られない。
- 春季はオオヨシキリ、スズメ、ヒバリ、ドバトなど、夏季はオオヨシキリ、スズメ、ムクドリ、ヒバリ、ツバメなど、秋季はスズメ、ヒバリ、カワウなど、冬季はホオジロ、カシラダカ、カワラヒワなどが主に優占する状況に変化は見られない。

(平成7年7月本格運用開始)



注) 平成22年度は春季、秋季の調査を実施していない。